

# 環境に係る情報協議会

## 国営緊急農地再編整備事業 岩見沢北村地区

### 1. 環境に対する考え方

#### 《農村環境の現状と課題》（「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」より）

##### 【現状】

岩見沢市は、東部の夕張山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれているため、そこに生息する動物や植物の種類も豊富である。

また、西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚類をはじめ水生植物も豊かである。

##### 【課題】

河川整備等により、かつてはいたるところに見られた魚類が減少しており、今後は環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

#### 《環境保全の基本的考え方》（「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」より）

山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。

### 2. 環境配慮計画

#### 《基本方針》

樺戸山地を遠くに望む豊かな田園景観、多くの動植物が生息・生育可能な自然環境及び水辺環境の保全に努める。

#### 《取組内容》

##### (1)生態系への配慮

- ・魚類等への生息環境に配慮し、工事中は濁水流出防止施設を設置する。

##### (2)生態系及び景観への配慮

- ・池沼の生態系及び景観を保全するため、水域及び水際部の工事を回避するとともに、周辺工事からの土砂流出防止に努める。